～水と緑のある　安心して心豊かに生活できるまち～

真崎地区自治会だより

No.49

発行　令和８年10月１日
編集　真崎地区自治会
（企画・総務部会）
電話　２８３－４４７７
真崎コミュニティセンター
mas-comi@vill.tokai.ibaraki.jp



第19回真崎古墳行灯まつり

真崎地区自治会長あいさつ

真崎地区自治会長　今泉　謙二



今年の台風発生は、平年の約1.5倍のハイペースな発生頻度を示していることから、日頃より自然災害に対する防災意識を高めたいと思います。今回は防災訓練及び東海村が進めている地区自治会の見直しを含めた現状をお知らせします。

先ず、今年４月より、村の「基幹避難所運営方針」の策定により、避難者による基幹避難所の運営が求められていることから、７月末に先進的な自治体（福島市）への視察研修を行いました。その中で、試験的ですがQRコードを読み込み、個人が情報を入力して送信すると、自動的に受信するシステムがありました。真崎地区自治会防災訓練（10月17日）においては、これを応用し、東海村では初めてとなるQRコードで受付及び要支援者の安否確認を試し、情報入手の簡易化及び迅速化を図ります。

次に、真崎地区自治会の体制は、真崎地区社協（福祉部会）及び村民会議村松支部（教育部会）が含まれていますが、それぞれが独自の規約や予算のもとで活動しているため、今後はこれらの組織を分離し、真崎地区自治会は防災と環境を重点的に担う体制に移行する予定です。

最後に、真崎地区自治会のワクワクFOODフェスティバルについては、真崎コミセンで行うため、距離のある舟石川三区や原子力機構荒谷台区からの参加者数が思わしくなく、他の地区自治会と共通する課題を持っています。一方で、各単位自治会では、それぞれの祭りを行っており、参加者もまとまっていることから、他の地区自治会で行う見直しの状況を踏まえ、役員会協議した結果、今年度で最後にする予定です。

令和８年度 真崎地区自治会 今後の予定

第12回　防災訓練　　10月17日(土)

各自がその場で実践！　～シェイクアウト訓練～
午前８時の花火で『安全行動』開始
１分間姿勢を維持したら終了



時間：午前10時～ 12時（受付開始９時30分）
場所：真崎コミュニティセンター（基幹避難所）
対象：真崎地区に住んでいるすべての方　　ぜひ、ご参加ください！

内容：QRコードを使った受付、発電機操作訓練、避難所備蓄品展示、
災害時用マンホールトイレ設置訓練、パーティションテント・段ボールベット組立訓練、QRコードを利用した要支援者の安否確認など

「秋季　真崎地区花いっぱい運動」　　10月31日(土)

建設環境部会及び地域の有志団体の方が真崎地区内12ヶ所の花壇に季節の花々の植栽活動を行います。真崎地区の花いっぱい運動参加しませんか。皆様のご参加お待ちしております。





「ワクワクFOODフェスティバル2027」　　令和９年３月６日(土)

子ども向けの遊びコーナーやアトラクションの他、大抽選会もあります。

みなさんお楽しみに!!









※写真は前回のワクワクFOODフェスティバル2026のものです

真崎地区地区内活動報告

真崎区　第19回真崎古墳行灯まつり　8月29日(土)








≪真崎区今後の事業予定≫

・第11回真崎区健康ふれあい運動会　11月7日(土)
・新春交流会　令和9年1月16日(土)

お楽しみにお待ちください。



舟石川三区　区民交流会　8月22日(土)







≪舟石川三区今後の事業予定≫

・クリーン作戦　11月14日(土)
・防災訓練　12月6日(日)
・区民交流会　令和9年2月6日(土)

お楽しみにお待ちください。



原子力機構荒谷台区　花いっぱい運動 5月30日(土)・草刈り 6月13日(土)





≪原子力機構荒谷台区今後の予定≫

BBQ大会は10月4日(日)予定です。お楽しみに！！



福祉部会

真崎地区社会福祉協議会

村松学童支援事業「ジャガイモ掘り」

6月16日(火)

村松学童支援事業として「ジャガイモ掘り」を行いました。

毎年、舟石川三区の佐藤房明様にご協力いただき、今年度は村松学童1年生児童9名、指導員の先生3名、地区社協会長等　合計16名が参加しました。

子どもたちが一生懸命ジャガイモを掘り起こし、土の中から出てくるジャガイモに歓声と笑顔が広がり、自分で掘る貴重な体験学習ができました。

掘ったジャガイモは、夏休みの学童でのおやつに提供するとのことです。

毎年ご協力いただいている、佐藤様に感謝いたします。





第1回フレイル予防講座

8月5日(水)

真崎地区の関連団体の会員のみなさん34名が参加し、「チャレンジ99クラブ」第1回フレイル予防講座を開催しました。「転倒予防について」と題し、理学療法士の長谷川大悟氏に講演をしていただきました。丁寧に指導をしていただき、普段の生活に活かせる情報について楽しく学ぶことができました。

参加者からの質問も多くあり、有意義な講演会になりました。講演会の後は、役場保険課の健康チェックを受け、握力測定やバランステスト、通常歩行テスト、椅子立ち上がりテストを実施しました。これらのテスト結果は、初期値とし、今後も継続し、運動機能の維持に貢献できるものと思います。

第2回フレイル予防講座は、2月10日に予定しています。多くの方のご参加をお待ちしています。







福祉部会

真崎地区社会福祉協議会

協力員研修会

8月26日（水）

協力員研修会を実施しました。役場環境政策課ごみゼロ推進室から講師２名を招き、「意外と知らない「ごみ」を学ぼう～捨て方やリサイクルについて」の講義をいただき、続いて、ボランティア団体「とうかい環境村民会議」会長久保田昌宏氏による「循環型社会の実現を目指す活動紹介～生ごみ減量化・生ごみ水切り啓発など～」の講義をいただきました。

土中の微生物により生ごみを分解して処理する、生ごみ処理機「キエーロ」を紹介いただき、参加した協力員は興味津々で活発な意見交換ができました。

午後からは、笑いヨガティーチャー弓野典子氏による「笑いと深呼吸を組み合わせた健康体操」を実施し、協力員同士の交流が深まり、有意義な１日を過ごすことができました。





ふれあいカフェ

真崎地区、舟石川三区それぞれで、その地区に住んでいる高齢者が集まって、コミセンや集会所を会場として、食事や交流を楽しむ活動をしています。

今後の予定は、真崎地区は、11月18日、12月16日、１月20日、２月17日、３月17日
舟石川三区は、11月18日、12月16日、２月17日、３月17日






今後の事業予定

・村松小学校４年生との長寿ふれあい敬老会	10月14日
・協力員視察研修会	11月５日
・「チャレンジ99クラブ」ニュースポーツ大会	11月20日
・ママのリラックスタイム	11月13日、１月８日
・スポーツ吹矢競技会	２月25日



教育部会

青少年育成東海村民会議村松支部

エンジョイ・サマースクール「クリーン作戦」　7月18日(土)

昨年度に続き、エンジョイ・サマースクールの一環として、村松小学校の通学路および周辺道路の美化と生活環境に対する子どもたちの意識向上として、クリーン作戦を実施しました。

朝早くからにも関わらず、多くの村松小学校の児童、教員、保護者など、計121名が参加しました。

村松小学校、真崎区集会所、舟石川三区集会所では、それぞれゴミ集積所を設置し、各集積場所に集まったゴミを担当役員の協力により一度で各集積所からコミセンへゴミを回収することができました。

全体としてゴミの量は少なく、環境美化は犯罪の抑止にも繋がります。今後も地域住民のご協力のもと、美しい東海村を維持していければと思います。





エンジョイ・サマースクール「あいさつ運動ポスターを描こう！」　8月1日(土)

エンジョイ・サマースクール「あいさつ運動ポスターを描こう！」を開催し、村松小の児童13名が参加しました。

今回は、村の美術連盟の方、5名を招き、ご指導をいただきました。

元気なあいさつのきっかけになるよう、子どもたちが想像力豊かに描いてくれました。

【作品】









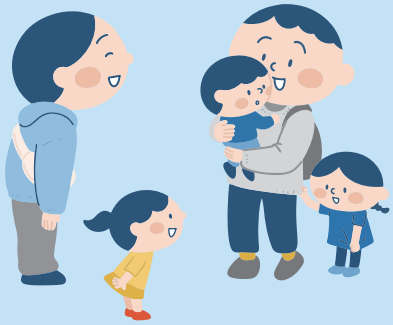












今後の事業予定

・お楽しみニュースポーツ大会　　10月31日(土)

対 象 者：村松小児童（申込希望者）

予定種目：卓球バレー、ボッチャ、ストライクナイン、輪投げなど



地域の団体活動

真崎区（真崎の未来を考える会）

流しそうめん　　7月26日（日）




舟石川三区

地域de“きずな”かま　　7月30日（木）




真崎コミセン内に行灯（あんどん）を展示

「真崎古墳行灯まつり」では毎年地区内の児童が行灯の絵付けを行ってくれています。

子供たちの豊かな個性を生み出す色とりどりの行灯をじっくり鑑賞していただきたく、コミニティセンター和室前廊下に展示しております。10月中旬の長寿ふれあい敬老会まで展示しております。是非ご覧ください。






編集後記

今年は台風の発生が平年を上回るペースで推移しており、さらに各地で豪雨による被害も相次いでいます。こうした状況を見るたび、防災は特別なことではなく、日頃から地域全体で備えておくべき大切な取り組みであることを改めて実感しています。10月17日には、地区自治会の防災訓練が予定されています。訓練への参加の有無にかかわらず、この機会にご家庭で防災について話し合い、備えを見直していただければ幸いです。

今号では、各単位自治会をはじめ、社会福祉協議会や村民会議村松支部などが6月から8月にかけて取り組んだ活動を中心にご紹介しました。地域を支えるさまざまな活動が、多くの皆さまのご協力によって成り立っていることを改めて感じています。今後とも、安心して暮らせる地域づくりへのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。　【甲斐】

＊このだよりは、村の地域づくり推進事業、真崎地区社会福祉協議会、青少年育成東海村民会議村松支部の補助金によって発刊しています。